

5 . 家族や精神的なゆとり

第1回及び第2回調査の結果から、「家族」や「結婚」、「子どもを持つこと」は県民の幸福実感と密接な関連があり、県民の幸福実感向上のためには「望む人が結婚し、望む人が子どもを持ち、安心して子育てできる地域社会」や「夫婦が共に働き、一緒に子育てできる社会」が求められることなどが明らかになってきました。

ここでは、「家族や精神的なゆとり」をテーマとして質問した「父親の育児参画についての考え方」、「理想の子どもの数」、「結婚意向と未婚理由」、「悩みや不安、心配ごと」などの集計結果について記載しています。

項目	質問文の概要
父親の育児参画についての考え方	・父親が育児をすることについて、あなたはどのように思いますか。（問10）
理想の子どもの数	・あなたは子どもを何人くらいほしいですか。あるいは、ほしかったですか。理想の子どもの人数をお答えください。（問9）
子どもの数	・お子さんは何人いらっしゃいますか。 （お子さんがいらっしゃる方へ） ・現在、お子さんはいくつですか。年齢をご記入ください。（問11）
（参考集計） 子どもの数の理想と現実のギャップ）	・理想の子どもの数（問9）と現在の子どもの数（問11）との関係
結婚経験	あなたはこれまでに結婚をしたことはありますか。（問12）
結婚意向と未婚理由	（問12で「未婚」、「既婚・死別」、「既婚・離別」と回答した方へ） ・今後の人生を通して考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。 (1) いずれ結婚するつもり (2) 結婚するつもりはない（問13） （問13で「いずれ結婚するつもり」と回答した方へ） ・現在、結婚していない理由は何ですか。（問13-2）
配偶者の職業	（問12で「既婚・配偶者あり」と回答した方へ） あなたの配偶者の主な職業は何ですか。（問14）
親の住む場所	・親ごさんは現在どこにお住まいですか。 ご両親が別々にお住まいの場合は、近くにお住まいの親ごさんについてお答えください。（問15）
悩みや不安、心配ごとなど	・悩みや不安、心配ごとなど、精神面で負担となっていることはありますか。 ・その原因としてあてはまるものは何ですか。（問16）

父親が育児をすることについて、あなたはどのように思いますか。あなたのお考えにもっとも近いものを1つだけ選んでください。(は1つだけ)

問10

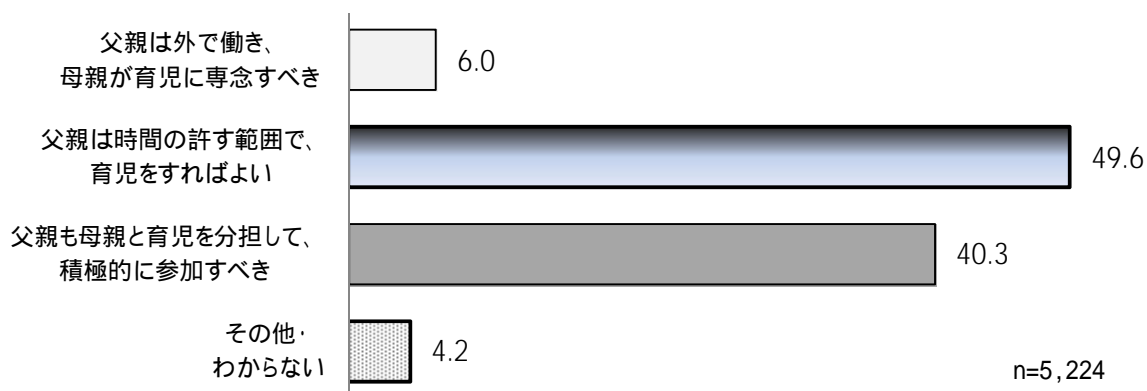
➤ 父親の育児参画についての考え方

父親の育児参画についての考え方を質問したところ、「父親は時間の許す範囲内で、育児をすればよい」の割合が49.6%で最も高く、「父親も母親と育児を分担して、積極的に参加すべき」が40.3%、「父親は外で働き、母親が育児に専念すべき」は6.0%となっています。

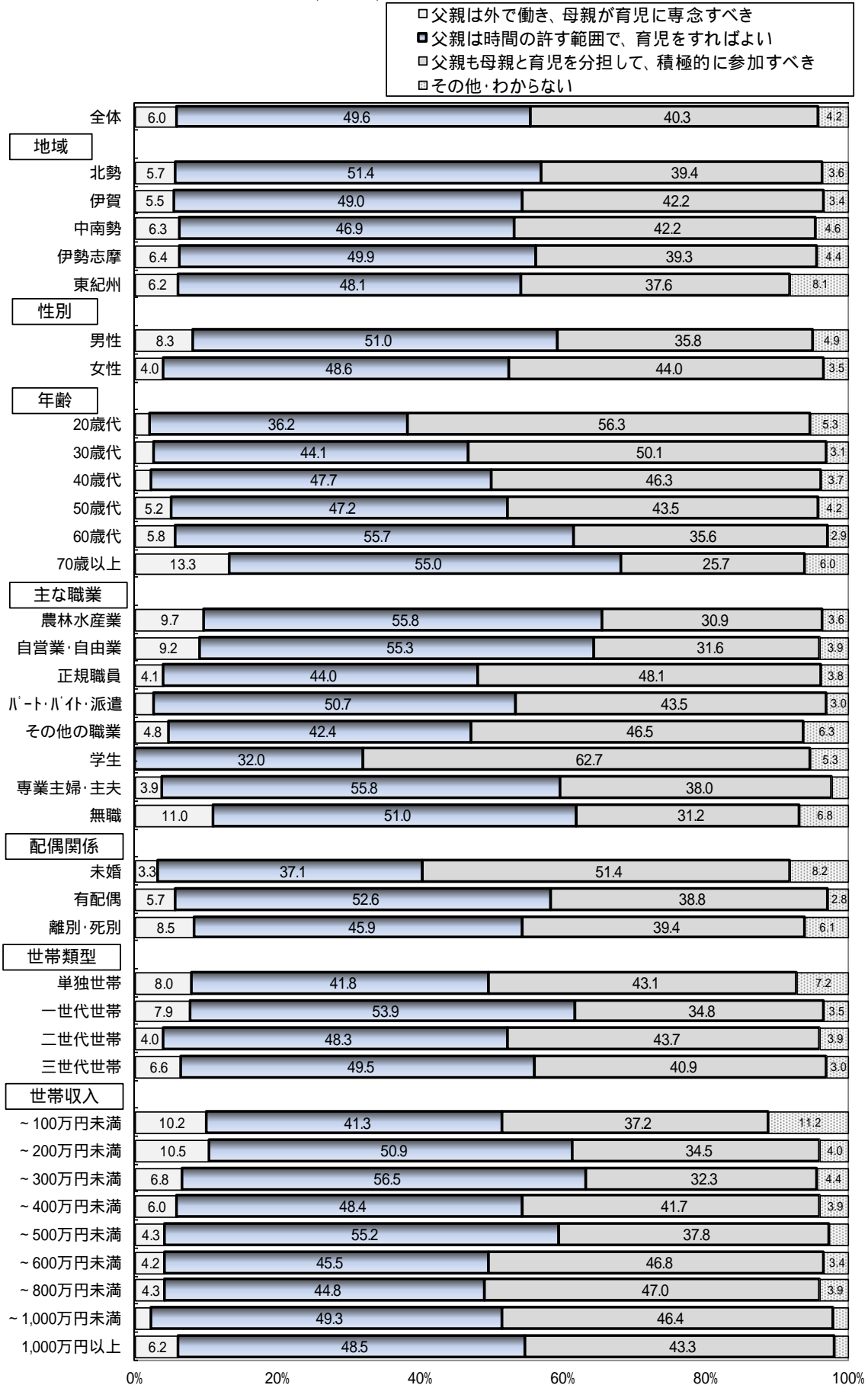
20歳代と30歳代、正規職員、学生、未婚などについては「父親も母親と育児を分担して、積極的に参加すべき」が「父親は時間の許す範囲内で、育児をすればよい」よりも高くなっています。

性別では、女性は男性より「父親も母親と育児を分担して、積極的に参加すべき」が8.2ポイント高くなっています。

図表2-5-1 父親の育児参画についての考え方



図表 2-5-2 父親の育児参画についての考え方(属性別)



「不明」(未回答など)を除いて回答割合を算出しています。

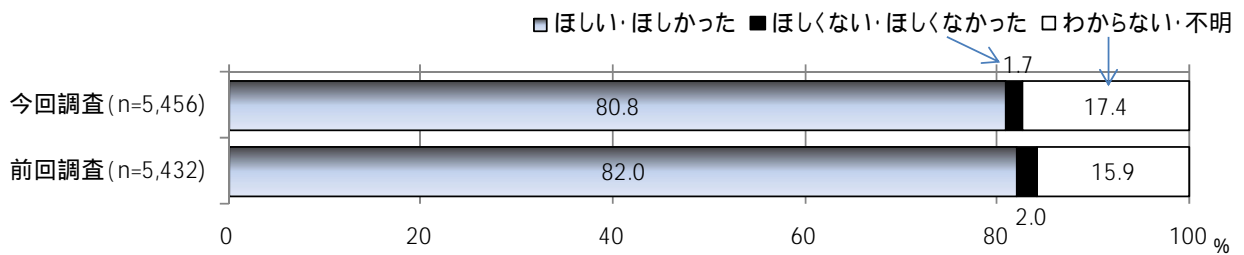
あなたは子どもを何人くらいほしいですか。あるいは、ほしかったですか。理想の子どもの人数をお答えください。(は1つだけ。「1」に をつけた方は()に人数も記入してください。)

問9

子どもを希望する割合

「子どもがほしい・ほしかった」の割合は80.8%、「ほしくない・ほしくなかった」が1.7%で、いずれも前回調査より低くなっており、「わからない・不明」が高くなっています。

図表 2-5-3 子どもを希望する割合

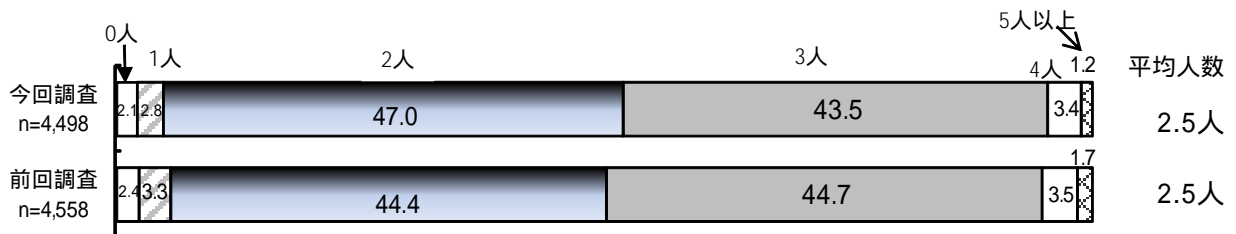


理想の子どもの数

理想の子どもの数については、「2人」の割合が47.0%で最も高く、次いで「3人」(43.5%)となっています。前回調査と比較すると「2人」の割合が2.6ポイント高くなった一方、「0人(ほしくない、ほしくなかった)」、「1人」、「3人」などの割合は低くなっています。

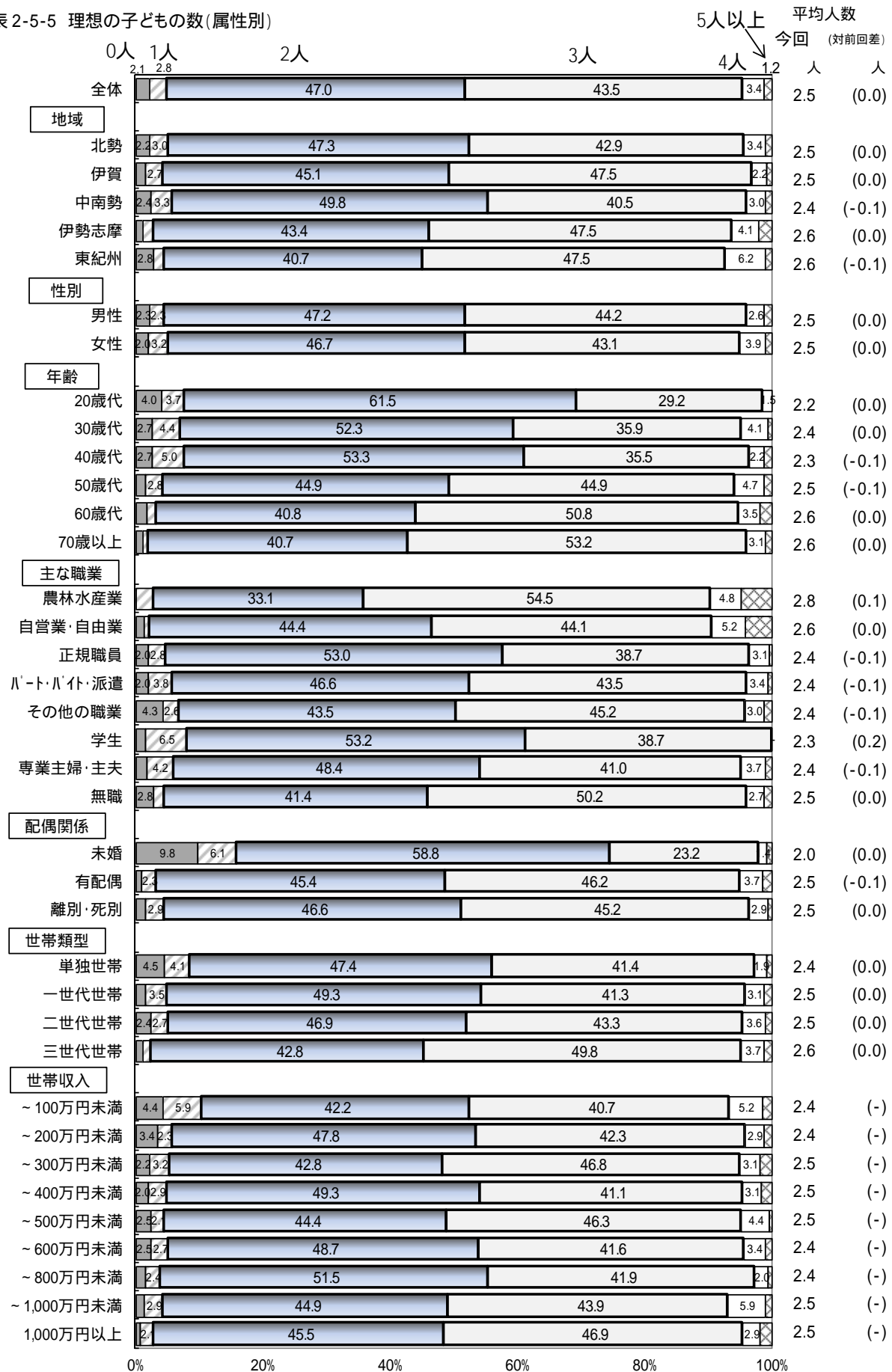
理想の子どもの数の平均は2.5人で、前回調査と同じとなっています。

図表 2-5-4 理想の子どもの数の推移



理想の子どもの人数が明記された回答、及び「ほしくない」と回答した方を対象に割合を算出しています。(n=4,498)
平均値の算出にあたっては、「ほしくない」の回答を「0人」としています。

図表 2-5-5 理想の子どもの数(属性別)



理想の子どもの人数が明記された回答、及び「ほしくない」と回答した方を対象に割合を算出しています。

平均値の算出にあたっては、「ほしくない」の回答を「0人」としています。

お子様は何人いらっしゃいますか。いない方は「0」とお答えください。

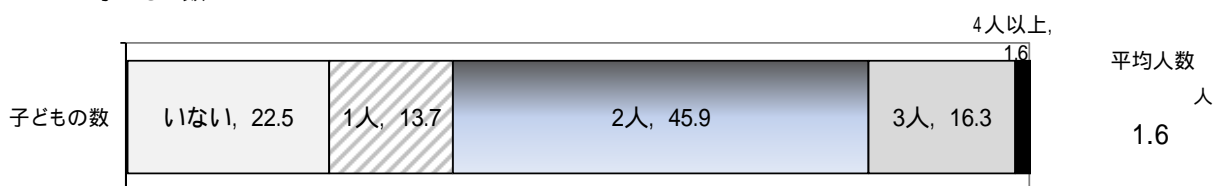
問11

➤ 子どもの数

子どもの数には、「2人」が45.9%、「いない」が22.5%、「3人」が16.3%、「1人」が13.7%となっています。

なお、回答して頂いた方の子どもの平均人数は1.6人となっています。

図表 2-5-6 子どもの数

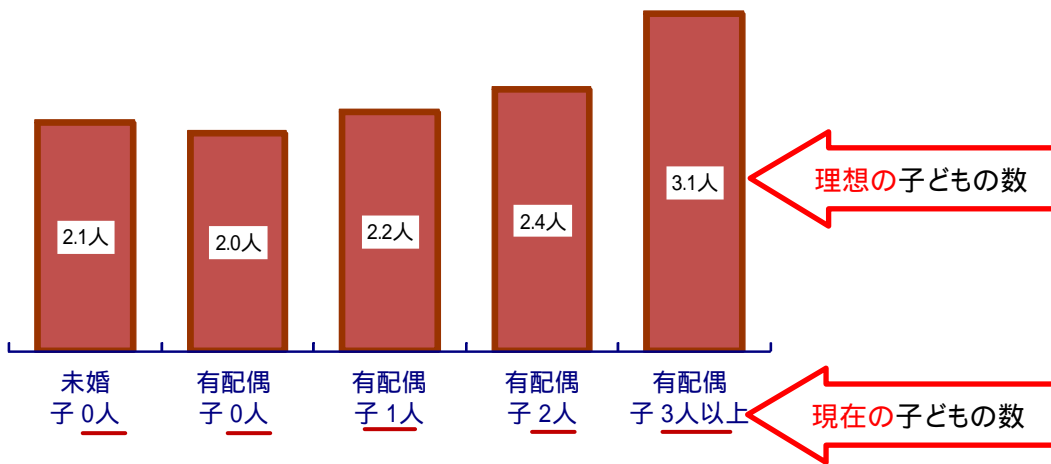


「不明」を除いて回答割合(%)や平均人数を算出しています。

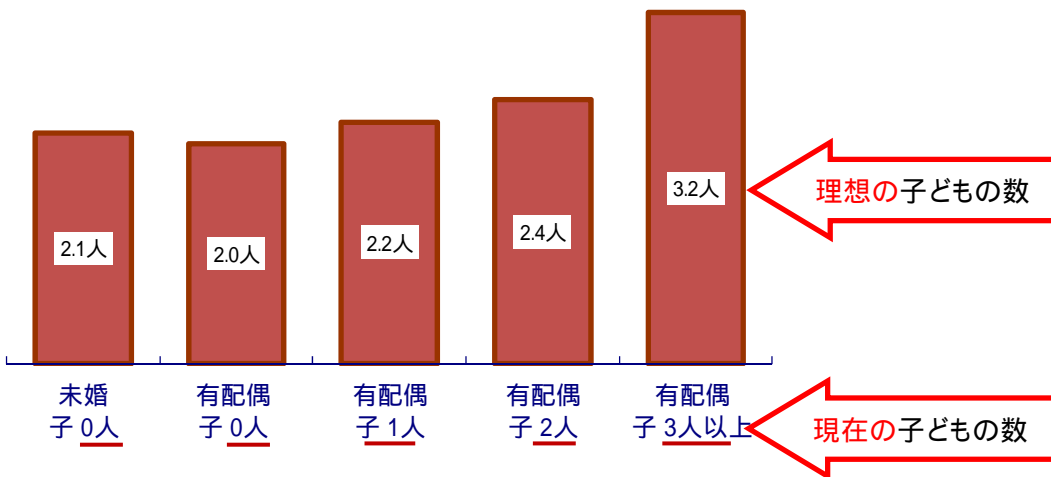
➤ 子どもの数の理想と現実のギャップ（参考集計）

20歳代から40歳代を対象に実際の子どもの数と理想の子どもの数の関係を見たところ、理想の子どもの数は、未婚で子どもいない層は2.1人、有配偶で子どもいない層は2.0人、有配偶で子ども1人の層は2.2人、有配偶で子ども2人の層は2.4人、有配偶で子ども3人以上の層は3.1人で、現在の子どもの数は理想の数より少なく、前回と同様の結果となっています。

図表 2-5-7 20歳代～40歳代の子どもの数の理想と現実(今回調査)



図表 2-5-8 20歳代～40歳代の子どもの数の理想と現実(前回調査)



あなたはこれまでに結婚したことはありますか。

問12

➤ 配偶関係

回答者の配偶関係は、「未婚」が13.0%、「有配偶」が72.6%、「離別・死別」が10.7%となっています。

図表 2-5-9 配偶関係



今後の人生を通して考えた場合、あなたの結婚に対する考え方は、次のうちどちらですか。問13

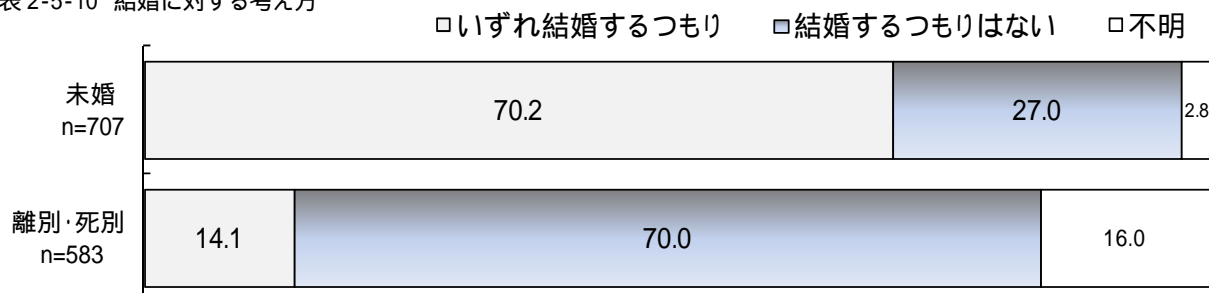
➤ 結婚に対する考え方

結婚に対する考え方について、未婚は「いずれ結婚するつもり」が70.2%、「結婚するつもりはない」が27.0%となっています。離別・死別は「いずれ結婚するつもり」が14.1%、「結婚するつもりはない」が70.0%となっています。

「未婚」における属性や属性項目における主な特徴（全体との差が大きい項目等）は次のとおりです。（統計的有意性は未確認）

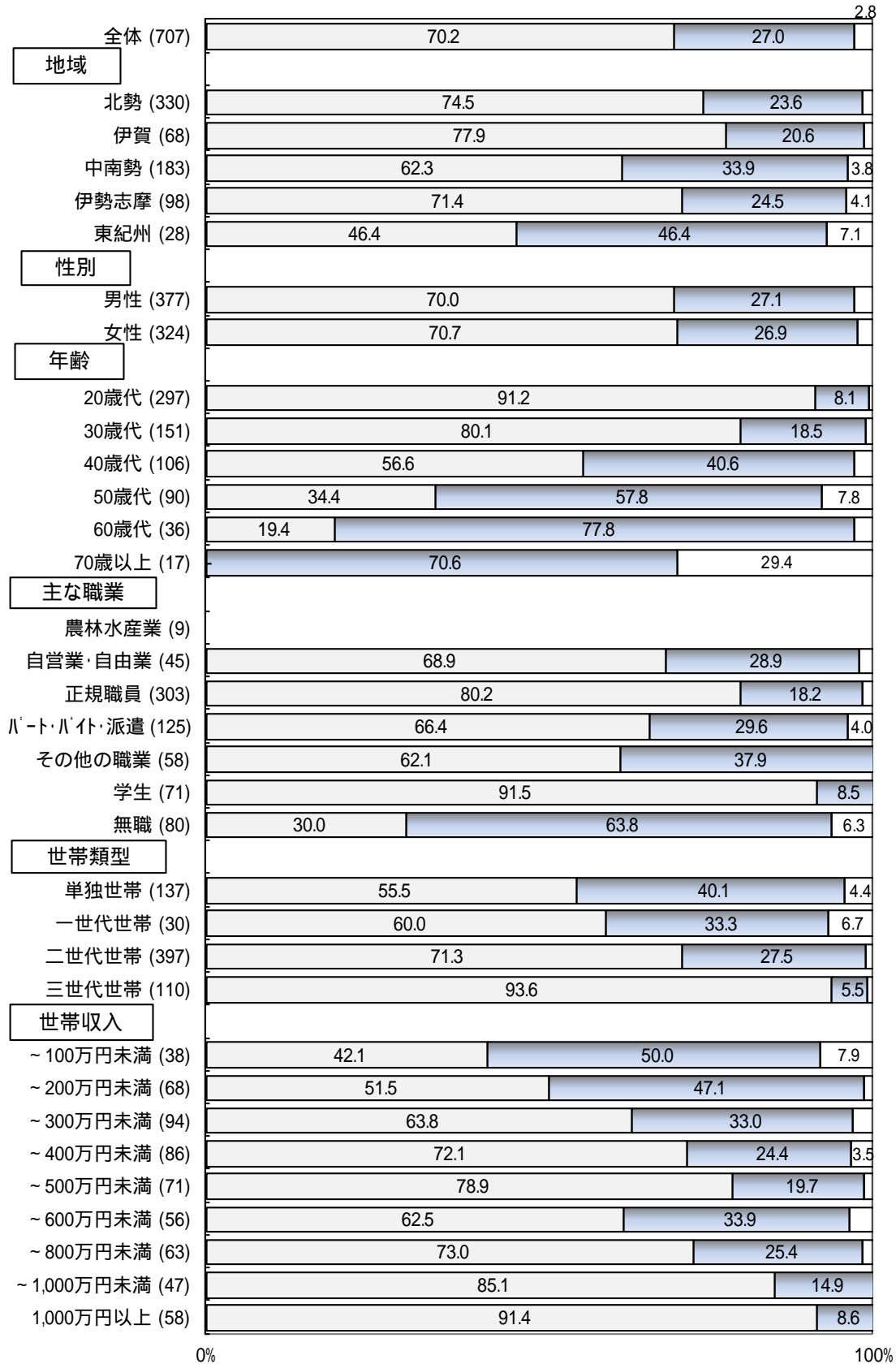
- ・20歳代は「いずれ結婚するつもり」が91.2%となっています。
- ・主な職業別で「いずれ結婚するつもり」の割合を見ると、学生及び正規職員は全体より高い。

図表 2-5-10 結婚に対する考え方



図表 2-5-11 「未婚」の結婚に対する考え方(属性別)

□いずれ結婚するつもり □結婚するつもりはない □不明



()内はサンプル数です。

農林水産業はサンプル数が少ないため、非表示としています。

(問13で「いずれ結婚するつもり」と回答した方へ)

現在、結婚していない理由は何ですか。次の中からあてはまるものすべてに をつけてください。

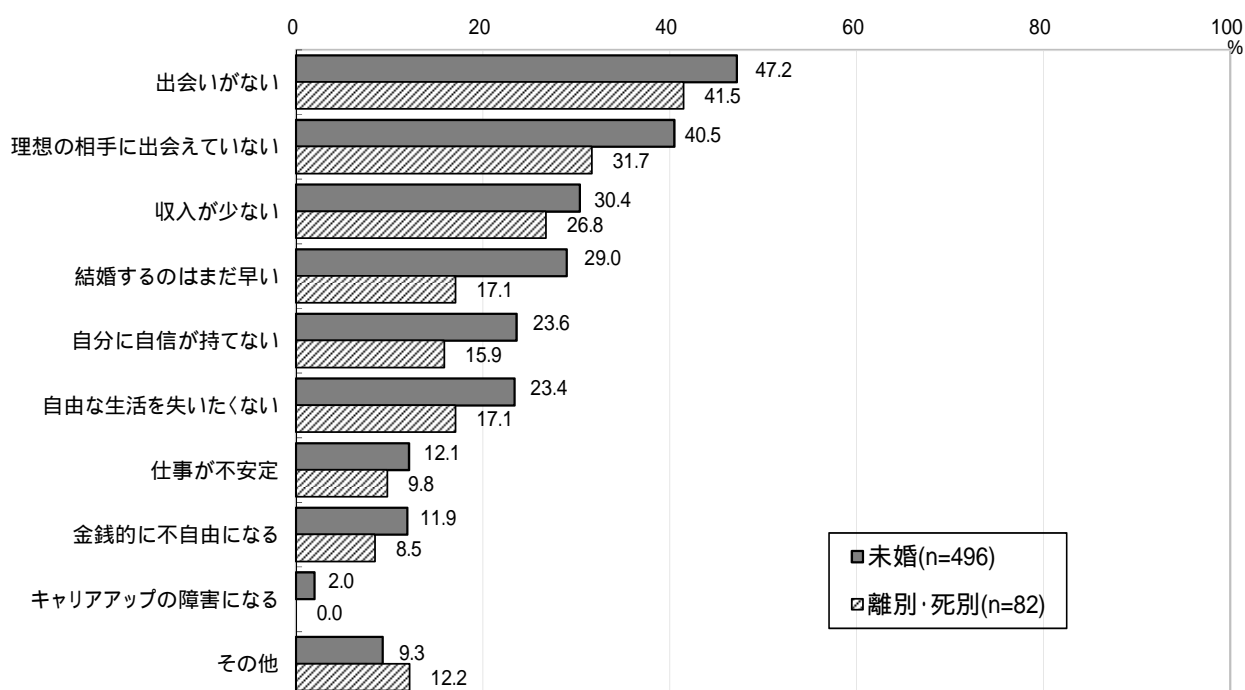
問13-2

➤ 結婚していない理由

「いずれ結婚するつもり」と回答した方に結婚していない理由を質問したところ、未婚、離別・死別いずれも、「出会いがない」の割合が最も高く、次いで「理想の相手に出会えていない」、「収入が少ない」の順となっています。

- ・未婚男性は「出会いがない」、「収入が少ない」の順に高くなっています。
- ・未婚女性は「理想の相手に出会えていない」、「出会いがない」の順に高くなっています。

図表 2-5-12 結婚していない理由



図表 2-5-13 「未婚」の結婚していない理由(属性別、全体の上位7項目)

(%)

		出会いがない	理想の相手に出会えていない	収入が少ない	結婚するのはまだ早い	自分に自信が持てない	自由な生活を失いたくない	仕事不安定
全体		47.2	40.5	30.4	29.0	23.6	23.4	12.1
地域	北勢	50.8	40.2	29.3	31.7	24.0	21.1	11.8
	伊賀	52.8	47.2	28.3	20.8	22.6	20.8	9.4
	中南勢	42.1	43.0	29.8	36.0	21.1	26.3	13.2
	伊勢志摩	42.9	37.1	37.1	17.1	27.1	27.1	15.7
	東紀州	23.1	15.4	30.8	15.4	23.1	30.8	0.0
性別	男性	54.2	37.5	41.7	27.7	22.3	20.5	16.7
	女性	38.9	43.7	17.0	30.6	25.3	26.6	7.0
年齢	20歳代	36.9	39.1	29.5	50.2	21.0	21.0	11.1
	30歳代	58.7	36.4	28.1	5.0	21.5	27.3	9.9
	40歳代	63.3	53.3	35.0	1.7	38.3	23.3	20.0
	50歳代	51.6	38.7	32.3	0.0	29.0	29.0	16.1
主な職業	自営業・自由業	41.9	41.9	58.1	9.7	22.6	29.0	41.9
	正規職員	50.2	45.3	21.8	23.5	23.5	25.5	3.3
	パート・バイト・派遣	49.4	38.6	36.1	14.5	27.7	28.9	22.9
	その他の職業	50.0	41.7	36.1	22.2	22.2	11.1	25.0
	学生	32.3	29.2	29.2	86.2	16.9	16.9	9.2
	無職	45.8	37.5	41.7	20.8	29.2	16.7	12.5
世帯類型	単独世帯	50.0	39.5	28.9	26.3	28.9	17.1	10.5
	一世代世帯	55.6	50.0	33.3	33.3	27.8	27.8	11.1
	二世帯世帯	46.6	42.4	32.2	25.8	20.8	24.7	14.1
	三世帯世帯	46.6	35.9	24.3	39.8	25.2	22.3	6.8
世帯収入	~100万円未満	43.8	25.0	37.5	37.5	25.0	31.3	43.8
	~200万円未満	42.9	34.3	57.1	22.9	22.9	14.3	22.9
	~300万円未満	48.3	40.0	45.0	21.7	35.0	11.7	18.3
	~400万円未満	51.6	37.1	30.6	19.4	21.0	27.4	14.5
	~500万円未満	48.2	41.1	17.9	16.1	21.4	16.1	7.1
	~600万円未満	54.3	48.6	20.0	25.7	25.7	28.6	2.9
	~800万円未満	47.8	47.8	19.6	30.4	21.7	23.9	10.9
	~1,000万円未満	45.0	47.5	35.0	35.0	22.5	40.0	5.0
	1,000万円以上	34.0	39.6	26.4	45.3	11.3	26.4	7.5

凡例： **第1位** **第2位** **第3位**

回答割合全体の上位7項目のみを記載しています。

サンプル数が10未満の属性項目は図表に記載していません。

離別・死別の図表は省略しています。

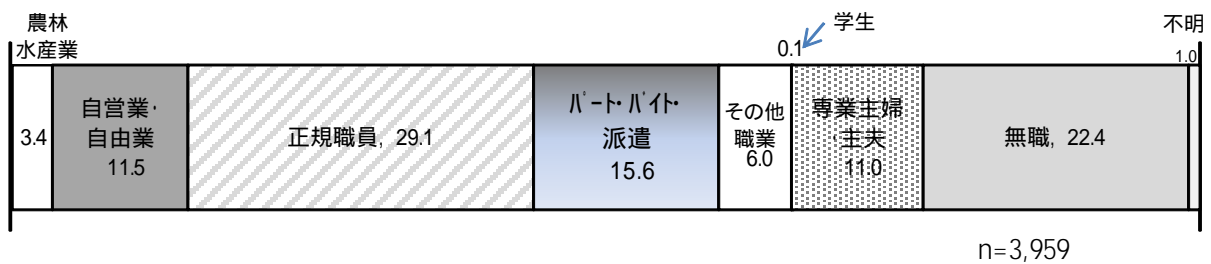
あなたの配偶者の主な職業は何ですか。(は1つだけ)

問14

➤ 配偶者の職業

現在、配偶者のいる方に配偶者の職業を質問したところ、「正規職員」が29.1%と最も高く、次いで「無職」(22.4%)、「パート・アルバイト・派遣社員」(15.6%)などとなっています。

図表 2-5-14 配偶者の主な職業



親ごさんは現在どこにお住まいですか。ご両親が別々にお住まいの場合は、近くにお住まいの親ごさんについてお答えください。

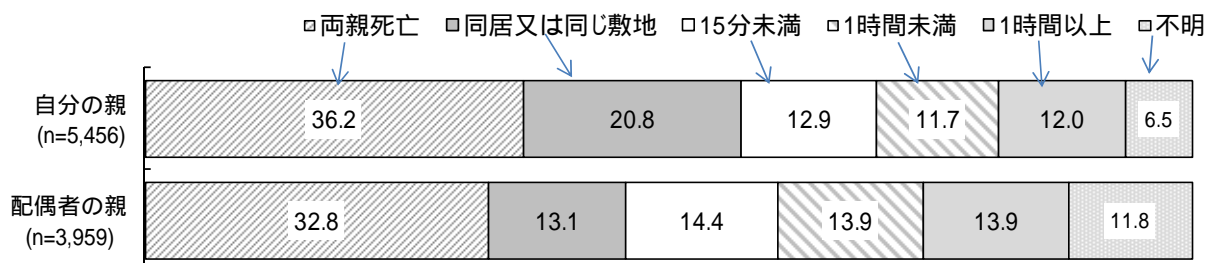
問15

➤ 親の住む場所

自分の親の住む場所は「両親とも死亡」の割合が36.2%で最も高く、次いで「同居または同じ敷地内の別の住宅」が20.8%、「片道15分未満の場所」が12.9%、「片道1時間以上の場所」が12.0%、「片道1時間未満の場所」が11.7%となっています。

配偶者の親の住む場所は「両親とも死亡」の割合が32.8%で最も高く、次いで「片道15分未満の場所」が14.4%、「片道1時間未満の場所」と「片道1時間以上の場所」が13.9%、「同居または同じ敷地内の別の住宅」が13.1%となっています。

図表 2-5-15 親の住む場所



配偶者の親は有配偶のみを集計しています。

あなたは、悩みや不安、心配ごとなど、精神面で負担となっていることはありますか。

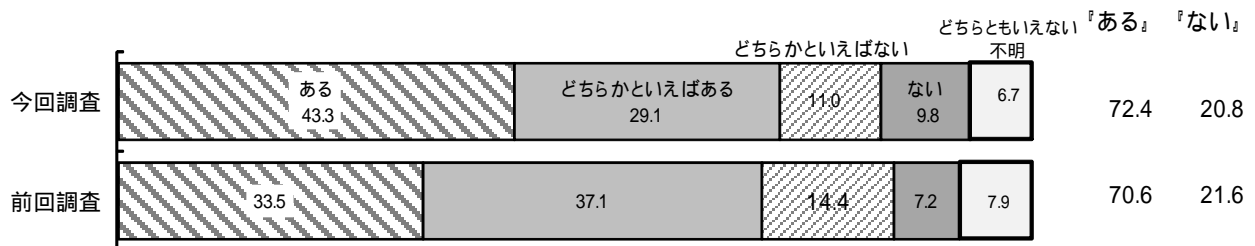
問16

➤ 悩みや不安、心配ごとの有無

悩みや不安、心配ごとなど精神面で負担となっていることがあるか質問したところ、「ある」と「どちらかといえばある」を合計した『ある』の割合が72.4%、「ない」と「どちらかといえばない」を合計した『ない』の割合（20.8%）より51.6ポイント高くなっています。

前回調査と比較すると、『ある』が1.8ポイント高くなった一方、『ない』が0.8ポイント、「どちらともいえない・不明」が1.2ポイントそれぞれ低くなっています。

図表 2-5-16 悩みや不安、心配ごとの有無



『ある』の割合・・・「ある」と「どちらかといえばある」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 『ない』の割合・・・「ない」と「どちらかといえばない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 割合は、「どちらともいえない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出。

問16 (悩みや不安、心配ごとなど)で「ある」または「どちらかといえばある」と回答した方に)

その原因としてあてはまるものは何ですか。次の中からあてはまるものすべてに をつけてください。(はいくつでも)

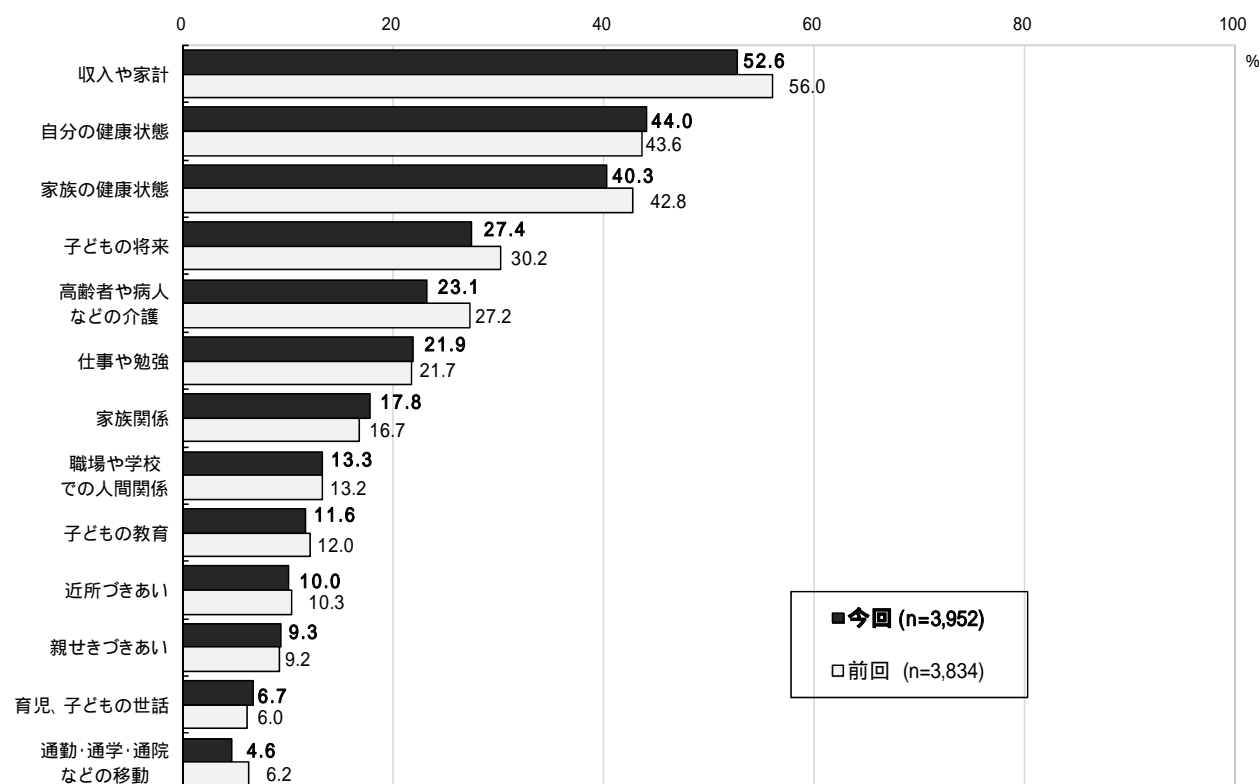
問16-2

➤ 悩みや不安、心配ごとの原因

悩みや不安、心配ごとなど精神面で負担となっていることが「ある」か「どちらかといえばある」と回答した方に悩みや不安、心配ごとなどの原因について質問したところ、「収入や家計」の割合が52.6%で最も高く、次いで「自分の健康状態」(44.0%)、「家族の健康状態」(40.3%)となっています。

前回調査と比較すると、「高齢者や病人などの介護」、「収入や家計」、「子どもの将来」、「家族の健康状態」などの割合が低くなった一方、「家族関係」、「育児、子どもの世話」などの割合が高くなっています。

図表 2-5-17 悩みや不安、心配ごとの原因



図表 2-5-18 悩みや不安、心配ごとの原因(属性項目別、上位3項目)

		1位		2位		3位	
全体		収入や家計	52.6	自分の健康	44.0	家族の健康	40.3
地域	北勢	収入や家計	50.3	自分の健康	43.2	家族の健康	40.1
	伊賀	収入や家計	58.0	家族の健康	43.6	自分の健康	41.5
	中南勢	収入や家計	51.1	自分の健康	45.3	家族の健康	40.5
	伊勢志摩	収入や家計	56.6	自分の健康	44.7	家族の健康	39.0
	東紀州	収入や家計	61.4	自分の健康	46.4	家族の健康	36.6
性別	男性	収入や家計	53.9	自分の健康	45.9	家族の健康	36.8
	女性	収入や家計	51.6	家族の健康	42.8	自分の健康	42.5
年齢	20歳代	仕事や勉強	57.3	収入や家計	55.6	職場・学校の間人間関係	33.6
	30歳代	収入や家計	64.8	仕事や勉強	36.5	子の教育	30.8
	40歳代	収入や家計	58.7	子の将来	38.8	家族の健康	38.2
	50歳代	収入や家計	56.9	家族の健康	45.8	自分の健康	43.8
	60歳代	自分の健康	53.0	収入や家計	49.2	家族の健康	46.3
	70歳以上	自分の健康	65.5	家族の健康	47.3	収入や家計	34.2
主な職業	農林水産業	収入や家計、家族の健康			50.9	自分の健康	48.2
	自営業・自由業	収入や家計	55.3	自分の健康	41.1	家族の健康	36.4
	正規職員	収入や家計	54.0	仕事や勉強	39.4	自分の健康	36.2
	パート・アルバイト・派遣	収入や家計	65.8	家族の健康	40.5	自分の健康	37.2
	その他の職業	収入や家計	56.4	自分の健康	42.1	家族の健康	35.6
	学生	仕事や勉強	78.8	収入や家計、職場・学校の間人間関係			40.4
	専業主婦・主夫	家族の健康	49.7	自分の健康	48.1	収入や家計	44.4
	無職	自分の健康	64.2	家族の健康	45.9	収入や家計	41.7
配偶関係	未婚	収入や家計	57.6	仕事や勉強	49.7	自分の健康	37.8
	有配偶	収入や家計	51.9	家族の健康	43.9	自分の健康	43.2
	離別・死別	自分の健康	57.1	収入や家計	52.8	家族の健康	27.4
世帯類型	単独世帯	自分の健康	61.1	収入や家計	51.2	仕事や勉強	22.1
	一世代世帯	自分の健康	50.4	収入や家計	50.3	家族の健康	47.6
	二世帯世帯	収入や家計	55.3	家族の健康	38.9	自分の健康	38.7
	三世帯世帯	収入や家計	50.2	家族の健康	41.8	自分の健康	38.4
世帯収入	～100万円未満	収入や家計	64.1	自分の健康	54.5	家族の健康	25.6
	～200万円未満	収入や家計	67.1	自分の健康	54.1	家族の健康	41.9
	～300万円未満	収入や家計	56.5	自分の健康	52.0	家族の健康	47.3
	～400万円未満	収入や家計	55.9	自分の健康	45.0	家族の健康	43.2
	～500万円未満	収入や家計	54.9	自分の健康	39.9	家族の健康	38.1
	～600万円未満	収入や家計	55.9	家族の健康	38.5	自分の健康	38.0
	～800万円未満	収入や家計	49.0	家族の健康	36.9	自分の健康	35.5
	～1,000万円未満	子の将来	39.8	家族の健康	39.2	収入や家計	38.9
	1,000万円以上	自分の健康	38.9	家族の健康、子の将来		35.5	